

『続 象の鼻～コロナ禍を詠む～ 川柳 象堂句集』 白鳥象堂著

コンビニが上手く丸めた恵方巻

謳歌するわが人生のロスタイム

つぶやきが世界を変えることもある

星の数誇る店より母の味

タンクから沖に旅するトリチウム

国葬はこうじゃなくちゃとエリザベス

団塊が歩くとぬかるみが出来る

馴染みない故郷励ます納税者

百歳の時代に霞む喜寿米寿

コロナ禍がライフとライブ奪い去り

-----  
白鳥象堂氏の川柳はたくさんあり、事務局としては、ご本人に「自信がある句を撰んで欲しい」と伝えたのですが、象堂氏の返答は「編集人の貴兄に一任します。人によって共感する句しない句は千差万別。また、句の解釈についても、読者と作者の違いが生じたりすることがままあります。」

そこで、以上の10句を撰んでみました。(以下は伊藤コメント)

- 幼少期に喰ったことも無い恵方巻、今更食べても験が有るわけない。
- 仕事と言う金取り病から放れましたが、自治会の地域史、刀剣・刀装具の小論執筆と忙しい。謳歌までいかない楽しみですが、調査に苦闘することも多い。
- 私はたしなんでませんがツイッターの話題が多いこと。
- うまいものは好きですが、あまりに高いと「いいかな」の現在の心境。
- 原子力発電、ケツの始末ができない現在はいかがなものか。無責任だ。
- 男を上げたのは野田さん、管さん。
- 団塊となったのはこっちのせいではなく、戦争のせいでしょ。
- 不祥事続きの市川市、娘夫婦も市川市には税金を払いたくないとふるさと納税。この話

を新市長とのタウンミーティングで話し、自省を求めましたが、これで17億円が流出しているとのこと。市川市は財政が今のところ健全だから、国からの補填も無いとのこと。本来は自分の故郷に払うものが、おかしい制度になってます。

- 確かに、自治会の敬老祝い金は喜寿、米寿は無くなり、百歳だけになってます。
- 旅心も奪われました。踊らされてワクチンを5回も打ちましたが、専門家と言われている人もいい加減だなと思うようになっています。